

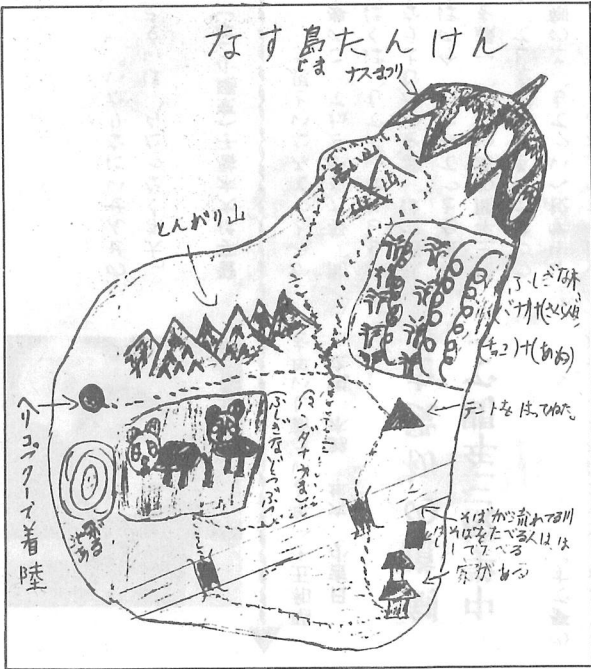
ぼくらの夢私のおめ

ゆめを、あこがれをなんの恐れもなく抱けるのは子どもたち。世の中は動いている、子どもの夢も変わってきている。しかし、それはいつも、どんな子の胸の中でもキラキラとはずんでるもの。この紙上で、十一人のお子さんの夢を、あなたにも、おすすわけしましょう。

コックになり 新しい料理法を

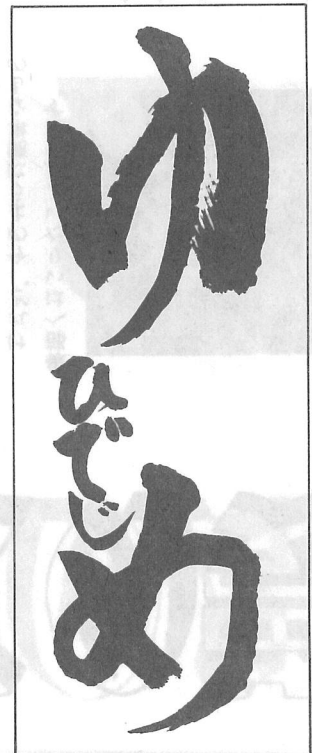
白浜小 六年 後藤 強
ぼくは、コックになりたい。

食べることが、大好きだからだ。それに、太っているから、スポーツなどには、向いていないからだ。ぼくは、新しい料理法を考えるたとえば、やせる料理、



身長のおびる料理などを、考え出す。そして、お嫁さんをもらいその料理がまずかったら、教えてやる。

一流レストランで、みんなに、喜ばれる料理を作りたい。



習字は椎名秀治(白浜小一年)
「ぼくは、パイロットになって、せかいじゅうのそらを、とびまわるんだ。」



骨のおれる仕事 だろうが先生に

白浜小 六年 向後ひろ美
先生になつてみたい。

小さな口をこまねずみのように動かす、あいきょうのあることばで、しゃ



べりまくる。小さな手をぎゅつとにぎって、広い運動場を力いっぱい走り回るいい気持ちだろうな。

何もわからないが、正直だ、一つ一つ正しく教えてわからなければ、

わかるまで手にとり身ぶりです、いっしょに歌い、いっしょに楽しむ骨のおれる仕事だろうが、実現したい。

絵は伊藤留美(白浜小四年)の作
「なす島にいて、動物たちといっしょに遊びたい。」